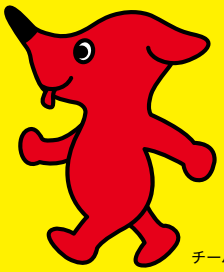
全学共通
教育プログラム

手引き 2015

コミュニティ再生ケア学

この１冊で
新しい教育
プログラム
が分かる!!



チーバくん

地域の未来のための
クリエイティブな
課題発見力、課題解決力
実践力、コミュニケーション力
を築く

千葉大学

全学共通教育プログラム

コミュニティ再生ケア学
手引き 2015

地域を元気に
自分が元気に

目　次

コミュニティ再生ケア学とは …… 4
コミュニティ再生ケア学の履修方法 …… 6
普遍教育科目 2015 指定科目 …… 8
専門教育科目 2015 指定科目 …… 16
学び方 …… 20

コミュニティ再生ケア学とは

千葉大学は、2013 年度の文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」に採択され、「クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学」を開始しました。このプログラムでは 2015 年度からサティフィケートプログラム「コミュニティ再生ケア学」を設置し、履修証明書取得要件で定められている単位を修得した学生に履修証明書（サティフィケート）を発行します。

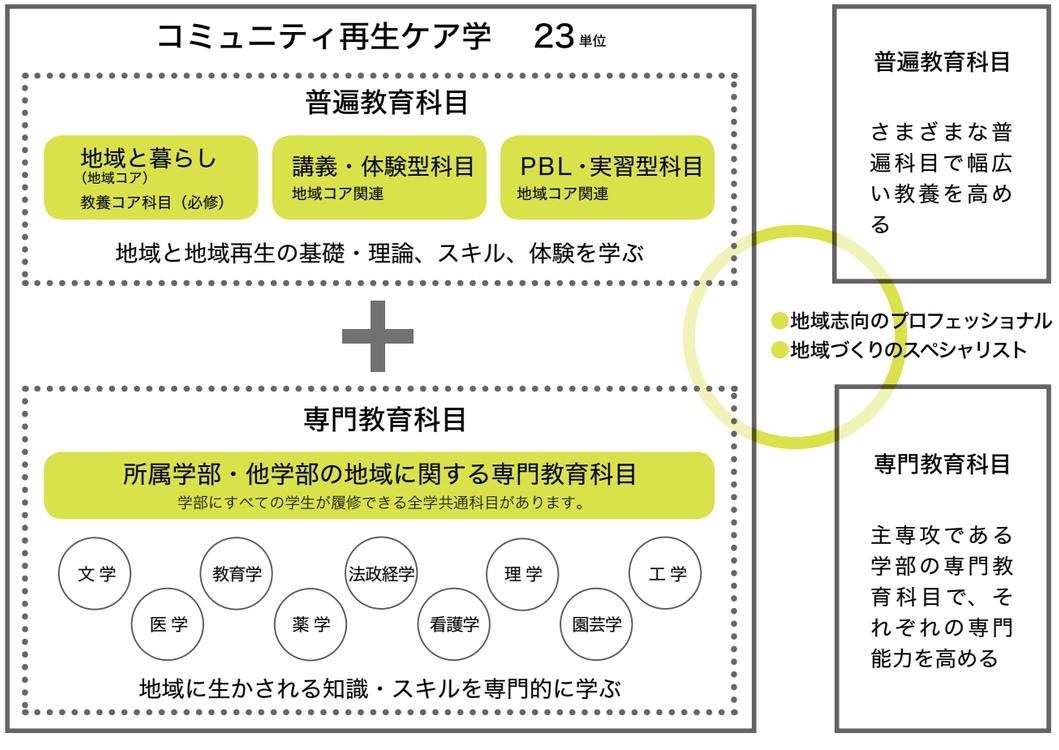
地域を元気にし、地域の未来をつくる

「コミュニティ再生ケア学」は、学生の主専攻である学部でのそれぞれの専門性をもちながら、地域・コミュニティに関する幅広い教養と、地域再生の知識、実践力を備え、ＮＰＯ、企業、自治体などそれぞれの立場で地域再生のために活躍できる人材を育成する教育プログラムです。
地域とは何か、地域の中のさまざまな課題や問題にはどのようなものがあるか、どのような解決事例があるかなど、自らが地域の課題を具体的に解決する力を身につけるために必要な基本的な考え方を学びます。

新しい教育プログラム　ー地域志向を学んだ証明ー

「コミュニティ再生ケア学」は、普遍教育科目と学部の専門教育科目を横断する、本年度から始まる全学共通教育プログラムです。普遍教育科目では、教養コア科目、教養展開科目の中に、「コミュニティ再生ケア学」を構成する科目が指定されています。履修証明書取得要件で定められている単位を修得した学生に履修証明書（サティフィケート）を発行します。

普遍教育と専門教育を横断する全学共通教育プログラムにより、
地域の未来をつくるためのクリエイティブな
課題発見力、課題解決力、実践力、コミュニケーション力　を築きます。



わたしたちが目指すのは、地域の未来をつくる

● 地域志向のプロフェッショナル　● 地域づくりのスペシャリスト

●地域志向のプロフェッショナルの職業イメージ（例）

- **公務員**　地域と向き合っているのは地方公共団体。
- **エンジニア**　エンジニアリングの技術を地域活性で生かす。
- **地域企業**　地域でふんばる企業で地域を活性化する。
- **医療・福祉従事者**　地域医療、介護、看護で安心・安全を。
- **教員**　子どもの頃から地域に関する関心をもたせる。
- **企業人**　大手企業も CSR で地域に関わる。

CSR：Corporate Social Responsibility（企業の社会的責任）

●地域づくりのスペシャリストの職業イメージ（例）

- **シンクタンクコンサルタント**　地域分析し、地域づくりの企画・計画を作成。
- **研究者**　理論系、政策系、現場研究で後押しする。
- **まちづくり会社／NPO**　まちづくり・地域づくりの組織で活躍する。
- **地域・都市づくり**　サステイナブルな都市づくりを進める。
- **CB／SB起業**　地域課題を解決する非営利組織を自ら起業。

CB：Community Business
SB：Social Business

イメージ通りの仕事がなければ、自分でつくる！

クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学とは

千葉大学は、2013 年度の文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」に採択され、「クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学」を開始しました。本事業は、地域課題が山積している大都市郊外の住宅地コミュニティを対象とし、そこにある大学として、自治体（千葉県、千葉市、松戸市、柏市、野田市）との強い連携の下、全学をあげて地域志向の教育・研究と社会貢献に向け様々な地域課題、社会問題に、総合的・包括的に取り組む拠点づくりを目的としています。

これらの取組を推進するために、専任教員と各学部等の協力教員からなるコミュニティ再生・ケアセンターを設置しました。また、重点的に取り組むモデル地区には、廃校となった小学校の一部にサテライトキャンパスを新設し、公開講座や地域で活動する団体等との連携により地域課題に向けた取組を進めています。

コミュニティ再生ケア学の履修方法

履修開始から履修証明書取得までの流れ

1 「コミュニティ再生ケア学　手引き」の冊子を入手

コミュニティ再生ケア学の指定科目は、開講状況等により年度によって変更されることがあります。入学年次から卒業・終了年次まで、各年度の冊子を手に入れ、履修を進めましょう。

2 履修計画を立て、「履修証明の取得申請・登録」と「各科目の履修登録」

4月／10月

コミュニティ再生ケア学の内容・履修証明書取得要件等を確認してください。その上で、指定されている科目一覧から、卒業までに必要な単位数を修得することを目指してください。

! 履修証明の取得登録

在学中にコミュニティ再生ケア学の履修証明を取得を予定する場合は、申請登録に必要な書類※をコミュニティ再生・ケアセンター（場所は23ページ参照）に提出してください。コミュニティ再生ケア学を取得中であることの証明書が発行されるとともに、履修･進路などの情報発信、相談等が受けられるようになります。

※申請登録に必要な書類及び申請方法等の詳細についてはwebページにて掲載しています。

! それぞれの科目の履修登録

履修証明の取得登録とは別に、コミュニティ再生ケア学の履修証明書取得要件の科目の履修登録は、通常の授業科目の登録（web登録）と同じく行ってください。（地域活動体験、インターンシップは登録しないでください）

学部専門教育科目の履修登録については、担当教員に相談してください。

3 履修計画に沿って履修　23単位　2015年度に学部を卒業する場合は22単位

4 コミュニティ再生ケア学の履修証明書申請

学部卒業時

コミュニティ再生ケア学の履修証明書の取得を希望する学生は、卒業年次の所定の期間に認定申請を行ってください。取得申請に必要な書類※をコミュニティ再生・ケアセンター（場所は23ページ参照）に提出してください。
※申請登録に必要な書類及び申請方法等の詳細についてはwebページ等にて後日掲載予定です。

5 コミュニティ再生ケア学履修証明書取得

学部卒業時

コミュニティ再生ケア学の取得要件を満たし、かつ所定の申請手続きを行った学生は、卒業時に履修証明書が取得できます。

注記
○平成2014年度以前の入学生は、平成2014年度の指定科目（12科目、10ページ参照）が単位認定されます。
○履修科目登録単位数の上限設定及び早期卒業を実施している学部がありますので、詳細は所属学部の「履修案内」等で確認してください。
○「履修証明書取得要件表」の各科目種別の単位数を合計しても、履修証明書取得要件の総単位数とは一致しません。これは、科目種別ごとの履修単位には選択の自由があり、個人によって履修証明書の取得要件の満たし方が異なるためです。

コミュニティ再生ケア学の取得要件

コミュニティ再生ケア学の履修証明書の取得要件は、各学部の卒業要件として修得しなければならない単位数とは異なる取得要件が設定されており､下表の「履修証明書の取得要件表」に定められた科目種別に属する授業科目を、取得要件に応じて23単位取得することが必要です。

コミュニティ再生ケア学は､普遍教育科目の「講義型」「講義･体験型」「ＰＢＬ･実習型」､専門教育科目からなります。

履修証明書の取得要件表

科目種別					必要単位数	備考
普遍教育科目	必修	講義型	地域と暮らし	8ページ	1	地域・コミュニティに関する必修科目で、「地域コア」に該当します。2年生以上は取得する必要はありません。
普遍教育科目	選択	講義・体験型	地域（再生）の基礎	9ページ	4~10	地域・コミュニティに関する基礎的な科目で、教養展開科目「地域コア関連」に、これに該当する科目があります。
普遍教育科目	選択	講義・体験型	地域（再生）に関する多様な分野・テーマ	9ページ	2~4	地域・コミュニティに関する基礎的な科目で、教養展開科目に、これに該当する科目があります。
普遍教育科目	選択	講義・体験型	地域（再生）に資するスキル	10ページ	2~4	地域・コミュニティに関わるためのスキル取得のための科目で、教養展開科目に、これに該当する科目があります。
普遍教育科目	選択	ＰＢＬ・実習型	ＰＢＬ（プロジェクト・ベースト・ラーニング）	12ページ	2~6	地域・コミュニティに関わるプロジェクトベース、実習型の科目で、教養展開科目「地域コア関連」に、これに該当する科目があります。
普遍教育科目	選択	ＰＢＬ・実習型	カレッジリンク・プログラム	13ページ		
普遍教育科目	選択	ＰＢＬ・実習型	地域活動体験	14-15ページ		
普遍教育科目	選択	ＰＢＬ・実習型	インターンシップ	14-15ページ		
専門教育科目			地域（再生）に関する専門内容	16-19ページ	6	各学部の専門科目に該当する科目があります。
履修証明書取得要件					計23	

履修証明書

コミュニティ再生ケア学の対象科目は、本冊子8～19ページとwebページに明記されています。これらの科目の中から、一定の科目を履修し、かつ23単位を取得することで、コミュニティ再生ケア学の「履修証明書」が取得できます。この履修証明書は千葉大学が必要単位を修得した学生の皆さんに地域の未来をつくる人材として活躍するための知識を得たことを証明するものであり、卒業時に学位記とともに取得できます。また、3年次終了までにコミュニティ再生ケア学の取得要件を満たしている場合は、「取得見込み証明書」を発行します。

履修案内

コミュニティ再生ケア学を構成する受業科目の履修は、原則として、その科目が属する科目区分での履修方法に準じます。そのため、授業の履修にあたっては、『Guidance2015』またはその科目が開講されている学部の『履修案内（履修要項・学生手帳、その他学部ごとの案内冊子、web）』を確認してください。

普遍教育科目　2015 指定科目

2015 年度の普遍教育科目の中の指定科目は、教養コア科目【地域と暮らし（地域コア）】と教養展開科目の一部から、コミュニティ再生ケア学の趣旨に合う科目から構成されています。

教養コア科目　地域と暮らし（地域コア）

1 科目　1 単位

必　修

2 年生以上は取得する必要はありません。

地域とは何か、地域の中のさまざまな課題や問題にはどのようなものがあるか、どのような解決事例があるかなど、自らが社会の一員として、地域のさまざまな課題を知り、具体的にどのような解決方法があるかを学びます。

所属学部・学科	時間	授業科目	所属	担当教員
●教育学部／中学校教員養成課程、特別支援教育教員養成課程、幼稚園教員養成課程、養護教諭養成課程、スポーツ科学課程、生涯教育課程 ●医学部／医学科 ●工学部／メディカルシステム工学科、共生応用化学科	後期前半 木曜 4限	団地再生まちづくり	コ	鈴木　雅之
		地域の地学的背景を知る	理	宮内　崇裕
		サイエンス、アートと地域社会	コ	縣　拓充
		健康都市・空間デザイン論	予	花里　真道
●教育学部／小学校教員養成課程 ●理学部／数学・情報数理学科、物理学科、化学科、生物学科、地球科学科	後期前半 木曜 5限	まちおこしと地域財政	人	大塚　成男
		生活文化とエンド・オブ・ライフケア	看	長江　弘子
		在宅医療	薬	佐藤　信範
		エコまちづくり	コ	田島　翔太
●文学部／行動科学科、史学科、日本文化学科、国際言語文化学科 ●薬学部／薬学科、薬科学科 ●園芸学部／園芸学科、応用生命化学科、緑地環境学科、食料資源経済学科	後期後半 月曜 1限	大学と地域の共創まちづくり	コ	上野　武
		地域振興とデザイン	工	植田　憲
		教育による地域問題の解決	教	藤川　大祐
		今後の医療	薬	山下　純
●看護学部／看護学科 ●工学部／建築学科、都市環境システム学科、デザイン学科、機械工学科、電気電子工学科、ナノサイエンス学科	後期後半 火曜 2限	地域と NPO の社会学	文	清水　洋行
		地域づくりとアートマインド	教	神野　真吾
		女性の安全な人間関係と地域での被害者支援	医	清水　栄司
		地域に住まう	工	小林　秀樹
●法政経学部／法政経学科 ●工学部／画像科学科、情報画像学科	後期後半 木曜 5限	超高齢社会論	病	井出　博生
		公共施設の再編・利活用	工	柳沢　要
		会話による健康づくり・人づくり・まちづくり	工	大武　美保子
		認知症の理解と高齢者医療の地域連携	病	平野　成樹

地域（再生）の基礎を学ぶ

2～5 科目　4～10 単位

地域・コミュニティに関する基礎的な科目で、地域とは何か、地域の中のさまざまな課題や問題にはどのようなものがあるか、どのような解決事例があるかなど、自らが地域の課題を解決する力を身につけるために必要な基本的な考え方を学びます。

授業科目	分類※	所属	担当教員	期別	曜日	時限	単位
地域再生学	地	コ	鈴木　雅之・他	前	木	3	2
少子高齢社会と地域	地	コ	鈴木　雅之・他	前	月	2	2
共生環境のまちづくり	地	工	樋口　孝之・他	前	水	5	2
地域を共につくる	地	工	佐藤　公信・他	前	火	2	2
千葉の地域を知る	地	コ	鈴木　雅之・他	後	金	2	2

分類凡例　地：地域コア関連

地域（再生）に関する多様な分野を学ぶ

1～2 科目　2～4 単位

地域・コミュニティの課題や解決法にはさまざまあります。地域の中のさまざまな課題や問題、解決方法を具体的に学び、自らが地域の課題を解決する力を身につけるために必要な基本的な考え方を学びます。

授業科目	分類※	所属	担当教員	期別	曜日	時限	単位
地域の中のキャンパスづくり	地	キ	上野　武・他	前	水	3	2
観るということ	地	コ	縣　拓充	前	金	4	2
伝統文化をつくるA	地	文	兼岡　理恵・他	前	月	4	2
伝統文化をつくるB	地	文	兼岡　理恵・他	後	月	4	2
伝統文化をつくるC	地	文	兼岡　理恵・他	後	集中		2
美術館の展示をつくる	地	教	神野　真吾・他	通	集中		2
アーティストと展示をつくる	地	教	神野　真吾・他	通	集中		2
アートコミュニケーション	地	教	神野　真吾・他	通	集中		2
アートをつくるⅠ	地	教	加藤　修	前	水	2	2
アートをつくるⅡ	地	教	加藤　修	後	集中		2
アートをつくるⅢ	地	教	加藤　修	前	集中		2
アートをつくるⅣ	地	教	加藤　修	後	集中		2
カフェをつくるⅠ	地	＊	西田　直海	前	月	3	2
カフェをつくるⅡ	地	＊	西田　直海	後	月	3	2
観光を考える	地	工	植田　憲・他	後	水	2	2
スポーツ・マネージメント	地	教	下永田　修二	前	火	3	2
環境をデザインする	文	工	佐藤　公信・他	前	水	2	2
ICT がつなぐ地域未来社会	環	工	佐藤　建吉	前	火	5	2
緑と食の環境問題	環	園	小林　達明・他	後	水	5	2
ひととみどりをつなぐ	環	園	三島　孔明	通	集中		2
生きるを考える	生	看	長江　弘子・他	後	火	3	2
隣人を知る	国	国	見城　悌治・他	後	火	3	2
環境から考える生活と世界	国	＊	大倉　よし子	後	月	4	2
市民社会 - 被災地支援とボランタリズム	キャ	法	関谷　昇・他	後	月	1	2
非営利市民事業と協同組合	キャ	人	大塚　成男・他	後	金	4	2

分類凡例　地：地域コア関連、文：文化コア関連、環：環境コア関連、生：生命コア関連、国：国際コア関連、キャ：キャリアを育てる

地域再生に資するスキルを学ぶ

1～2科目　2～4単位

地域・コミュニティの課題や問題を解決するために習得しておいた方がよいスキルがあります。就職先や現場で活動すれば身につくスキルですが、ここで学べば、活躍するまでの期間を短縮できます。

授業科目	分類※	所属	担当教員	期別	曜日	時限	単位
地域づくりの道具	地	コ	鈴木　雅之・他	後	水	3	2
芸術学 A	文	教	神野　真吾	前	水	3	2
プレゼンテーション演習	コミ	統	全　へい東	後	火	4	2
言語・文化・コミュニケーション	コミ	文	石井　正人・他	後	水	5	2
思考とコミュニケーションのプラクティス	コミ	＊	永本　義弘	後	火	3	2
対人コミュニケーション演習	コミ	＊	堂山　智子	前	木	2	2
文献との対話	コミ	文	竹内　比呂也・他	後	月	2	2
文章表現演習	コミ	国	佐藤　尚子	前	月	3	2
理系の作文とプレゼンの学習法	コミ	工	斎藤　恭一	前	月	3	2
コミュニティ実践論	キャ	普	白川　優治・他	前	金	5	2
イノベーション概論	キャ	マ	井上　里志	前	木	5	2

分類凡例　地：地域コア関連、文：文化コア関連、コミ：コミュニケーションリテラシー、キャ：キャリアを育てる

2014 年度開講科目の読み替え

2014 年度にコミュニティ再生ケア学の一部授業を開始しました。2015 年度からのコミュニティ再生ケア学の単位認定にあたっては、以下のように単位認定します。ここに示された以外の科目で、2014 年度以前に開講された科目は単位認定されません。

2014 年度開講科目名	単位数		2015 年度科目種別
地域再生学	2	▶	地域（再生）の基礎科目 / 地域（再生）に関する多様な分野・テーマ科目として認定
超高齢社会と地域	2		
地域の中のキャンパスづくり	2		
観るということ	2		
郊外コミュニティ学	2		
減災福祉コミュニティ入門	2		
サイエンスとアートのコミュニケーション	2		
廃校小学校に大学をつくる	2	▶	ＰＢＬ科目として認定
「まち点検」ー小学校と防犯まちづくり実践	2		
スポーツによるコミュニティづくり	2		
減災まちづくり入門	2	▶	カレッジリンク・プログラム科目として認定
地域活動体験	2	▶	地域活動体験科目として認定

海浜ニュータウンの閉校した旧高浜第二小学校を千葉市から借り受けサテライト・キャンパス美浜として活用しています。ここでは、いくつかの科目が開講されるほか、教員の研究拠点、市民との協働の場として使われています。学生起業を目指すオフィスとしても利用が可能です。

サテキャンで学ぶ

セミナールーム e,f

普通教室を活用した懐かしい雰囲気の残るセミナールーム。少人数の授業や公開講座、ワークショップなどを行う空間。

ラウンジ d

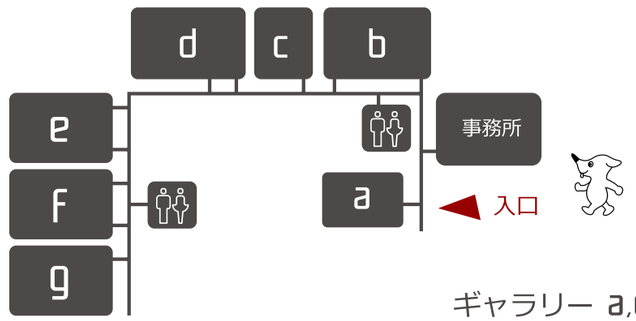
サテキャンの顔ともいえるラウンジ。大学生のアイディアと試行錯誤が詰まった憩いの空間です。講演やワークショップを行います。

ラボ b

理科室を利用したラボ。教員・学生や地域のみなさんが、地域に関する研究や打合せを行うための空間です。Wi-Fi（無料）が利用可能。

スタジオ g

さまざまな工具が揃うスタジオ。千葉大学や千葉市美術館などが連携した組織、WiCAN が展開する「アートを通して人と人をつなげていく活動の拠点。



ギャラリー a,c

地域の「ひと・もの・こと」に関する情報や記憶を収集・保存・展示してゆくギャラリー。展示は定期的に更新していく予定。

ＰＢＬ（Project Based Learning）

地域・コミュニティに関わるプロジェクトベースの科目です。地域課題の解消や地域の魅力づくりに関する活動テーマやプロジェクトについて､学生自らの提案（学外からのプロジェクト提案あり）により設定し、具体的にするための事業計画、活動計画を立て、実践します。一連の授業を通して、自らが地域再生の専門人材として何ができるか、これから何を学ぶべきかを学習します。

授業科目	分類	所属	担当教員	期別	曜日	単位	備考
サテキャンで地域とつながる	地コ関	コ	鈴木　雅之・他	前	集中	2	
地域プロジェクト実習	地コ関	コ	鈴木　雅之	通	集中	4	3年生以上 15名まで
トップ・スポーツによるコミュニティづくり	地コ関	教	小泉　佳右	通	集中	4	
文化をつくる	地コ関	教	神野　真吾・他	通	集中	2	

サテキャンで地域とつながる

地域の中心としてのサテキャン（サテライトキャンパス）は、地域再生の観点から、大学としてどうあるべきかを考えます。その上で、学生としてその運営にどう関われるかを考え、プロジェクトの計画を立て、実際に自らが活動することで、地域再生のあり方を学習します。

地域プロジェクト実習

地域・コミュニティに関わるプロジェクトベースの授業をゼミ形式で行います。地域課題の解消や地域の魅力づくりに関する活動テーマやプロジェクトについて、企業提案や、学生自らの提案により設定し、具体化するための事業計画、活動計画を立てます。

トップ・スポーツによるコミュニティづくり

プロスポーツチームが持つブランド力は、地域の振興促進やコミュニティの活性など、地域が抱える様々な課題解決につながる可能性を秘めています。千葉県内に拠点を持つプロスポーツ団体等と連携してスポーツイベントを開催し、地域社会とスポーツとの関係性を考えつつ、イベントの企画運営能力を養います。

文化をつくる

前半は、アーティストやクリエイターによる複数のワークショップに参加し、アート的な視点や創造的な思考法について体験的に学びます。その後は千葉市美術館やアーティストと連携しながら、地域で様々な活動を展開していきます。2014年度はサテキャン内に設けた工房で「屋台」を制作し、それらを用いてカフェなどの活動を行いました。

カレッジリンク

柏市と千葉市で開講されます。この科目は千葉大学の学生だけでなく、市民も公開講座として受講します。この科目では、地域の課題や問題を自分で考え、他人とディスカッションすることで、客観的かつ俯瞰的にものごとを捉える能力を身につけます。

授業科目	分類	所属	担当教員	期別	曜日	単位
カレッジリンク@柏	地コ関	柏	野田　勝二	通	集中	2
カレッジリンク@千葉	地コ関	コ	鈴木　雅之	通	集中	2

柏　カレッジリンク@柏

『千葉大学柏の葉カレッジリンク・プログラム』は柏の葉キャンパスの環境健康フィールド科学センターが実施している公開講座と千葉大学の授業とを一体化したもので、2009年に開講してから5年が経過し、地域に根付いてきました。市民の修了生は地域のコミュニティーで活躍したり、大学と一緒に街づくりに貢献するための社団法人を設立して活動していたりしています。

プログラムの内容は環境、健康、農、食をキーワードにして地域が抱える課題の解決方法や、街づくりのコンセプトの提案を行うものとなっており、毎年複数のコースが用意されます。プログラムの回数は各コース5回の授業と全コース合同で行う発表会を合わせた6回で、地域の市民と共に学び、意見交換しながら、課題解決方法やコンセプトの提案をつくりあげていきます。

2015年度コース（予定）

詳しくはガイダンス、web等で確認してください。

コース① **地域の食文化**　　コース② **柏の葉公園**

千葉　カレッジリンク@千葉

柏の葉キャンパスで始まったカレッジリンク・プログラムを2014年度から、市民とコミュニティと大学がともに考える場として、千葉市でも始めました。2014年度は、海浜ニュータウンのサテキャンにおいて、高齢社会の地域における災害対応の課題、地域づくりに欠かせない地域資源の掘り起こしと活用、災害対応計画づくりなどについて、フィールドワークやグループワークを通じて体験しました。授業は、学生と市民とが月1回の土曜（全5回）、講義＋グループワークを通して、地域づくりに自ら働き掛け、行動する基礎力を養いました。

2015年度コース（予定）

詳しくはガイダンス、web等で確認してください。

コース① **居場所づくり**

全5回で、地域に求められるさまざまな居場所、コミュニティカフェ等のあり方、つくり方を学びます

コース② **住まいづくり**

全5回で、クリエイティブな住まいづくりの考え方、つくり方、自ら手を加えるDIY方法を学びます

合同ガイダンス開催

@柏＋@千葉
合同履修ガイダンス

日時：2015年4月　**20**日（月）・**23**日（木）
いずれの日も **12:10～12:40**
場所：総合校舎D号館 D23

地域活動体験／インターンシップ

- 地域活動・インターンシップで研修することで、体験的に地域社会の課題やニーズを知り、取組みの意味を理解します。
- 活動の体験を通じて、地域に対する自分の可能性を発見します。

『地域ＮＰＯ活動体験』とは、地域再生を実践するＮＰＯ等にボランティアとして参画し、地域活動や市民団体の役割とその実践について学び、視野を広めます。そして、地域の活性化のためにできる事、活性化を担うために大切な事を具体的に掘り下げ、「地域社会」発展について理解を深め、その後の勉学への取組み方を発見します。
『地域志向型インターンシップ（インターンシップ）』とは、自治体や企業等での地域に関わる就業体験を通して、地域（再生）に関連した知識や理解を深めるとともに、将来の職業選択における自らの適性・能力を考えます。また、組織・団体等の実態に触れることにより、就業のミスマッチを防ぐという目的もあります。

履修の流れ（両科目共通）　履修登録（web 登録）はしないでください

４月 ～５月	ガイダンス開催 説明会開催	内容説明および各プログラム詳細が発表されます 開催日等については、総合校舎の掲示、ＨＰ、ＦＢ等で告知します
５月 ～６月	募集・選考	募集要項を入手し、エントリーシートにて応募します 書類選考、面接等にて選考を行います
５月 ～７月上旬	事前学習	単位取得に必須です
８月 ～12月	派遣先での活動	それぞれの地域 NPO 活動体験、あるいは地域志向型インターンシップ派遣先にて活動します
12月 ～１月	事後学習 成果報告	事後学習への出席は単位取得にあたって必須です。 報告会や報告書等での成果報告を行います。
３月	単位取得	

※プログラムによっては、学期中、冬休み中、春休み中に派遣される場合があります。

受講者の声

「地域活動体験」での学びが他の講義と大きく異なる特徴は、まず何といっても実践的な学びができることです。ここで得られる経験や学び、沢山の素晴らしい人々との出会いは非常に貴重で、それは、あなたの世界を広げ、一生ものの財産となり、今後の学習に役立ち、人生における武器になると思います。活動は非常に充実しており、派遣先の方々も親切で、尊敬でき、非常に楽しく活動することが出来ました。もし受講を迷っているのであればぜひ受講して、多くの人々と出会い、沢山の素晴らしい学びをしてみて下さい。

教育学部２年　與那覇 葵

ボランティア先では、自ら積極的に行動して行こう。お世話になる派遣先だとしても、躊躇しないでしっかりと発言していくことが大事です。意欲を見せれば、派遣先の方々も十分にそれに応えてくれます。大学の授業の一環として、ボランティアに参加できることはめったにない機会です。存分にこの機会を利用して、大学の授業だけでは知り得ないようなあらゆることを学んできて下さい。

園芸学部２年　畑川 芳弥

地域ＮＰＯ活動体験　通期集中　２単位

千葉県内（千葉市、松戸市、柏市など）で地域課題の解決に取り組む NPO で、地域活動をボランティアとして ”50 時間 ” 以上おこなうことが求められます。また、事前学習、事後学習が義務づけられます。
派遣先の活動としては、たとえば高齢者・障碍者を対象とした活動、子供や青少年・育児中の家族等を対象とした活動、里山再生や環境保全の活動、魅力的なまちづくりや、安心安全の地域づくりに関する活動、学術・芸術・文化・スポーツに関する活動、などがあります。本科目の４月のガイダンスにおいて派遣先を発表します。

2014 年度の派遣先 NPO 一覧（2015 年度の派遣先は調整中）

① ちば地域再生リサーチ
② 土気 NGO
③ 千葉中央おやこ劇場
④ 千葉市民活動支援センター
⑤ まちづくり千葉
⑥ NPO 支援センターちば
⑦ 千葉盲ろう者友の会
⑧ カモミール
⑨ こんぶくろ池自然の森
⑩ バランス 21
⑪ ビオスの会
⑫ エコメッセちば実行委員会
⑬ あすみが丘国際交流 略称 AIFS

地域志向型インターンシップ　通期集中　２単位／２年生以上

「コミュニティ再生ケア学」の履修登録、「地域（再生）の基礎を学ぶ」の科目および、その他の指定科目を履修していると、選考上優先されます。

自治体・企業・団体等で、”40 時間以上 ” のインターン研修が求められます。また、事前学習、事後学習が義務づけられます。インターン研修の受け入れ先には、以下のようなものがあります。本科目の４月のガイダンスにおいて研修先を発表します。

自治体

自治体のインターンシップには「学内選考の地方自治体」と「公募の行政機関」があります。

① 学内選考の地方公共団体
千葉県内の地方公共団体の中には、千葉大学生のインターンシップ受け入れを行うところがあります。今後、インターンシップの研修希望があった地方公共団体に受け入れを依頼し、マッチングを行います。研修の可否が判明するまで、他の機関には応募できません。

② 公募の行政機関
主に中央省庁や都道府県などの主要な地方公共団体が全国の学生に向けて公募するインターンシップがあります。各行政機関からの情報が公開され次第、ホームページ等で掲載します。

企業・団体等

地域に関わる企業・団体の研修先を募集しています。現在は、以下のような研修先があります。

① 千葉銀総合研究所
② ＵＲ都市再生機構
③ コープみらい
④ コミュニティ・ビジネスサポートセンター
⑤ 千葉大学コミュニティ再生・ケアセンター

ガイダンス開催

地域 NPO 活動体験 ＋ 地域志向型インターンシップ
合同履修ガイダンス

日時：2015 年４月　**21**日（火）・**22**日（水）・**23**日（木）
いずれの日も **12:10 ～ 12:40**　（ランチ持参可）
場所：総合校舎Ｄ号館 D24

専門教育科目　2015 指定科目

各学部の専門科目にコミュニティ再生ケア学の指定科目が置かれています。各学部が、コミュニティ再生ケア学の主旨に合う科目を指定しています。全学共通科目では、他学部の学生も履修することができます。

専門教育の指定科目には、すべての学生が履修できる全学共通科目と、所属学部の学生のみが履修できる所属学部生限定科目があります。科目ごとに履修条件等がそれぞれ異なりますので、履修の際は注意してください。６単位までが履修要件の単位として認定されます。

６単位

全学共通科目

すべての学部の学生が履修できる科目※

55 科目

文学部

■地域社会学ｂ
■家族社会学ｂ

教育学部

■文化形成論Ⅰ
■芸術学概説
■美術の背景
■地域と社会
■日本の地誌
■キャリア教育
■公衆衛生学
■地域文化形成史論Ⅰ
■地域史研究入門
■ディベート教育論
■アートプロジェクトⅠ
■アートプロジェクトⅡ
■授業実践開発演習Ⅱ
■地域子育て支援活動実習Ⅰ
■地域子育て支援活動実習Ⅱ

理学部

■植物分類学野外実験
■堆積学実験Ⅰ
■地殻構造学野外実験Ⅰ

工学部

■建築計画Ⅰ
■建築計画演習Ⅰ
■建築計画Ⅱ
■建築計画演習Ⅱ
■都市環境デザイン
■都市地域デザインⅠ
■都市地域デザインⅡ
■建築の保全と再生
■都市計画
■都市環境プロデュース
■都市居住計画
■都市開発
■景観計画
■建築計画Ⅰ
■国土・交通計画
■地域環境計画
■都市環境共生
■環境ビジネス
■都市空間計画
■建築計画Ⅱ
■デザイン文化論
■デザイン文化計画演習

薬学部

■薬剤師と地域医療

看護学部

■エンド･オブ･ライフケア看護実践論

園芸学部

■農村社会学
■地域再生計画学
■ GIS 利用論
■環境ガバナンス論
■都市計画学
■都市緑地学
■都市緑地計画学
■緑の環境を育む
■緑地環境学原論
■緑地福祉学
■公園デザイン学

※受け入れ人数等の履修条件があります。担当教員に相談が必要です。

所属学部生限定科目

所属学部の学生のみが履修できる科目

29 科目

教育学部

○ライフコースと生活福祉
○現代社会と家族
○生涯教育論
○地域環境学野外実習Ⅰ

法政経学部

○ヨーロッパ政治演習Ⅰ
○ヨーロッパ政治演習Ⅱ
○ヨーロッパ政治演習Ⅲ
○ヨーロッパ政治演習Ⅳ

理学部

○地質学野外実験Ⅰ
○地史古生物学実験Ⅰ
○地史古生物学実験Ⅱ
○地質学野外実験Ⅱ

工学部

○都市・建築史
○都市環境デザイン

医学部

○衛生学
○公衆衛生学
○医療経済情報学

看護学部

○地域看護学概論
○精神看護学概論
○訪問看護学概論
○地域看護方法
○災害と地域看護活動
○看護基本技術Ⅳ（地区活動）
○訪問看護実習
○精神・地域看護コア実習
○精神・地域看護コア実習
○地域看護統合実習
○精神看護統合実習
○社会資源と看護マネジメント

専門教育科目　2015 指定科目一覧

授業科目名の前の記号

■：全学共通科目（すべての学部の学生が履修可）
○：所属学部生限定科目（所属学部の学生のみが履修可）

科目の種類

a：現代日本の都市・地域の課題や、課題解決に向けた取組・地域活性化のための活動等に関する知識を提供するもの
※社会問題、都市・地域を構成する要素に関する内容であって、それらが地域との関係、つながりに触れられているものは含む
b：地域に出て行う調査・フィールドワーク
c：地域の調査・診断のための知識・技術を提供するもの（GIS、地域課題を把握するアンケート手法等）
d：地域での活動の実習・体験を含むもの
e：千葉の歴史や自然、文化に関する知識を提供するもの

文学部

授業科目名	担当教員名	期別	曜日時限	単位	科目種類	授業形態
■地域社会学ｂ	清水　洋行	前期	金４	２	a	講義型
■家族社会学ｂ	米村　千代	後期	月４	２	a	講義型

教育学部

授業科目名	担当教員名	期別	曜日時限	単位	科目種類	授業形態
■文化形成論Ⅰ	椎原　晶子	前期	金３	２	a	講義型
■芸術学概説	神野　真吾	前期	水３	２	a	講義型
■美術の背景	神野　真吾	後期	水３	２	a	講義型
■地域と社会	梅田　克樹	後期	水３	２	a	講義型
■日本の地誌	梅田　克樹	前期	水３	２	a	講義型
■キャリア教育	藤川　大祐	前期	火４	２	a	講義型
■公衆衛生学	七木田　文彦	前期	火３	２	a	講義型
■地域文化形成史論Ⅰ	小関　悠一郎	後期	金２	２	e	講義型
■地域史研究入門	小関　悠一郎	前期	金２	２	e	講義型
■ディベート教育論	藤川　大祐	後期	火４	２	a	演習・セミナー型
■アートプロジェクトⅠ	神野　真吾	通期	集中	２	d	プロジェクト型
■アートプロジェクトⅡ	神野　真吾	通期	集中	２	d	プロジェクト型
■授業実践開発演習Ⅱ（キャリア教育演習）	藤川　大祐	通期	集中	２	d	プロジェクト型
■地域子育て支援活動実習Ⅰ	藤川　大祐	前期	集中	２	d	実習・インターン型
■地域子育て支援活動実習Ⅱ	藤川　大祐	後期	集中	２	d	実習・インターン型
○ライフコースと生活福祉	久保　桂子	後期	火３	２	a	講義型
○現代社会と家族	久保　桂子	前期	火２	２	a	講義型
○生涯教育論	長澤　成次	後期	水２	２	a	演習・セミナー型
○地域環境学野外実習Ⅰ	三澤　正・梅田　克樹	通期	集中	２	d	プロジェクト型

法政経学部

授業科目名	担当教員名	期別	曜日時限	単位	科目種類	授業形態
○ヨーロッパ政治演習Ⅰ	水島　治郎	前期	金４	２	d	演習・セミナー型
○ヨーロッパ政治演習Ⅱ	水島　治郎	後期	金４	２	d	演習・セミナー型
○ヨーロッパ政治演習Ⅲ	水島　治郎	前期	金５	２	d	演習・セミナー型
○ヨーロッパ政治演習Ⅳ	水島　治郎	後期	金５	２	d	演習・セミナー型

理学部

授業科目名	担当教員名	期別	曜日時限	単位	科目種類	授業形態
■植物分類学野外実験	綿野　泰行・朝川　毅守	通期	集中	１	e	実習・インターン型
■堆積学実験Ⅰ	伊藤　眞	前期	集中	１	b	実習・インターン型
■地殻構造学野外実験Ⅰ	金川　久一	前期	集中	１	b	実習・インターン型
○地質学野外実験Ⅰ	伊藤　眞・亀尾　浩司	後期	集中	１	b	実習・インターン型
○地史古生物学実験Ⅰ	亀尾　浩司・小竹　信宏	前期	水３	１	b	実習・インターン型
○地史古生物学実験Ⅱ	小竹　信宏・亀尾　浩司	後期	木３－５	１	b	実習・インターン型
○地質学野外実験Ⅱ	金川　久一・他	前期	集中	２	b	実習・インターン型

工学部

授業科目名	担当教員名	期別	曜日時限	単位	科目種類	授業形態
■建築計画Ⅰ	柳澤　要	後期	月１	２	c	講義型
■建築計画演習Ⅰ	柳澤　要	後期	月２	１	c	演習・セミナー型
■建築計画Ⅱ	中山　茂樹	前期	金４	２	c	講義型
■建築計画演習Ⅱ	中山　茂樹	前期	金５	１	c	演習・セミナー型
■都市環境デザイン	未定	後期	金２	２	a	講義型
■都市地域デザインⅠ	未定	後期	水２	２	a	講義型
■都市地域デザインⅡ	未定	前期	火２	２	a	講義型
■建築の保全と再生	モリス・マーチン・他	前期	木２	２	e	講義型
■都市計画	村木　美貴	前期	水６	２	a	講義型
■都市環境プロデュース	柘植　喜治	前期	木６	２	a	講義型
■都市居住計画	森永　良丙	後期	月６	２	a	講義型
■都市開発	村木　美貴	後期	水２	２	a	講義型
■景観計画	宮脇　勝	前期	水４	２	a	講義型
■建築計画Ⅰ	小林　秀樹	前期	金６	２	a	講義型
■国土・交通計画	丸山　喜久	前期	金５	２	a	講義型
■地域環境計画	梅本　舞子	後期	火３	２	a	講義型
■都市環境共生	瀬瀬　満	後期	集中	２	a	講義型
■環境ビジネス	木村　諭史	後期	水３	２	a	講義型
■都市空間計画	柘植　喜治	後期	金６	２	a	講義型
■建築計画Ⅱ	大川　信行	前期	金３	２	a	講義型
■デザイン文化論	植田　憲	後期	火２	２	a	講義型
■デザイン文化計画演習	植田　憲	前期	木１	３	d	実習・インターン型
○都市・建築史	ダリオ・パオルッチ・マッテオ	前期	集中	２	a	講義型
○都市環境デザイン	郭東潤	後期	水６	２	a	講義型

医学部

授業科目名	担当教員名	期別	曜日時限	単位	科目種類	授業形態
○衛生学	諏訪園　靖	後期		３	a	講義型
○公衆衛生学	羽田　明	後期		１	a	講義型
○医療経済情報学	鈴木　隆弘	前期		１	a	講義型

薬学部

授業科目名	担当教員名	期別	曜日時限	単位	科目種類	授業形態
■薬剤師と地域医療	佐藤　信範・他	前期	木３	２	a	講義型

看護学部

授業科目名	担当教員名	期別	曜日時限	単位	科目種類	授業形態
■エンド・オブ・ライフケア看護実践論	長江　弘子・他	後期	水３	１	b	演習・セミナー型
○地域看護学概論	宮崎　美砂子・他	前期	木１	１	a	講義型
○精神看護学概論	野崎　章子、阿部　玲子	前期	火３	１	a	講義型
○訪問看護学概論	諏訪　さゆり・他	後期	火３	２	a	講義型
○地域看護方法	宮崎　美砂子・他	前期	木１	１	a	講義型
○災害と地域看護活動	宮崎　美砂子・他	後期	月３	１	b	演習・セミナー型
○看護基本技術Ⅳ（地区活動）	宮崎　美砂子・他	後期	木１	１	c	演習・セミナー型
○訪問看護実習	諏訪　さゆり・他	前期	集中	１	d	実習・インターン型
○精神・地域看護コア実習	宮崎　美砂子・他	通期	集中	３	d	実習・インターン型
○精神・地域看護コア実習	野崎　章子、阿部　玲子	通期	集中	３	d	実習・インターン型
○地域看護統合実習	宮崎　美砂子・他	前期	集中	３	d	実習・インターン型
○精神看護統合実習	野崎　章子、阿部　玲子	前期	集中	３	d	実習・インターン型
○社会資源と看護マネジメント	諏訪　さゆり・他	後期	金１	１	a	講義型

園芸学部

授業科目名	担当教員名	期別	曜日時限	単位	科目種類	授業形態
■農村社会学	西山　未真	後期	月４	２	a	講義型
■地域再生計画学	齋藤　雪彦	前期	火２	２	a	講義型
■ GIS 利用論	加藤　顕	後期	火３	２	a	講義型
■環境ガバナンス論	秋田　典子	後期	火２	２	a	講義型
■都市計画学	木下　勇	後期	火３	２	a	講義型
■都市緑地学	池邊　このみ	前期	水３	２	a	講義型
■都市緑地計画学	池邊　このみ	後期	火２	２	a	講義型
■緑の環境を育む	池邊　このみ	後期	水２	２	a	講義型
■緑地環境学原論	藤井　英二郎	前期	火１	２	a	講義型
■緑地福祉学	岩崎　寛	前期	月２	２	a	講義型
■公園デザイン学	木下　剛	後期	月１	２	a	講義型

学び方

時間割

普遍教育科目の指定科目の時間割を掲載しています。履修計画の参考にしてください。

前 期

凡例 ●地域（再生）の基礎 ■地域（再生）に関する多様な分野 ▲地域再生スキル ▼PBL・実習

	月	火	水	木	金
1					
2	●少子高齢社会と地域	●地域を共につくる	■アートをつくるⅠ ■環境をデザインする	▲対人コミュニケーション演習	
3	■カフェをつくるⅠ ▲文章表現演習 ▲理系の作文とプレゼンの学習法	■スポーツ・マネジメント	■地域の中のキャンパスづくり ▲芸術学Ａ	●地域再生学	
4	■伝統文化をつくるＡ				■観るということ
5		■ ICT がつなぐ地域未来社会	●共生環境のまちづくり	▲イノベーション概論	
集 中	■アートをつくるⅢ　▼サテキャンで地域とつながる				

後 期

凡例 ●地域（再生）の基礎 ■地域（再生）に関する多様な分野 ▲地域再生スキル ▼PBL・実習

	月	火	水	木	金
1	■市民社会―被災地支援とボランタリズム　後半 地域コア				
2	▲文献との対話	後半 地域コア	■観光を考える		●千葉の地域を知る
3	■カフェをつくるⅡ	■生きるを考える ■隣人を知る ▲思考とコミュニケーションのプラクティス	▲地域づくりの道具		
4	■伝統文化をつくるＢ ■環境から考える生活と世界	▲プレゼンテーション演習		前半 地域コア	■非営利市民事業と協同組合
5			■緑と食の環境問題 ▲言語･文化･コミュニケーション	前半 地域コア　後半 地域コア	
集 中	■伝統文化をつくるＣ　■アートをつくるⅡ　■アートをつくるⅣ				

通 期

集 中	■美術館の展示をつくる ■アーティストと展示をつくる ■アートコミュニケーション ■ひととみどりをつなぐ ▼地域プロジェクト実習 ▼トップ・スポーツによるコミュニティづくり	▼文化をつくる ▼カレッジリンク@柏 ▼カレッジリンク@千葉 ▼地域ＮＰＯ活動体験 ▼地域志向型インターンシップ

履修モデル

コミュニティ再生ケア学の履修モデルを「バランス型」「理論型」「体験型」、「地域に関する専門科目が少ない学部学科の学生向け」の４つで例示しています。

1 バランスよく学ぶ　推奨モデル

地域に関する科目をバランス良く学ぶ履修モデル

普遍教育の科目種別は、下記の推奨単位数のようにバランス良く取得してください。

地域と暮らし	地域（再生）の基礎	地域（再生）に関する多様な分野・テーマ	地域（再生）に資するスキル	ＰＢＬ・実習型	地域（再生）に関する専門科目	合計
1	4	4	4	4	6	23

2 幅広く理論的に学ぶ

地域に関する内容をより理論的・体系的に学ぶ履修モデル

・自分が所属する学部で開講されている地域（再生）に関する専門科目のほかに、他学部で開講されている地域（再生）に関する専門科目も可能であれば、受講してみてください。

地域と暮らし	地域（再生）の基礎	地域（再生）に関する多様な分野・テーマ	地域（再生）に資するスキル	ＰＢＬ・実習型	地域（再生）に関する専門科目	合計
1	8	4	2	2	6	23

ここを多く

3 体験で学ぶ

地域のことを体験的・実践的に学ぶ履修モデル

・自分が所属する学部で開講されている地域（再生）に関する専門科目のほかに、他学部で開講されている地域（再生）に関する専門科目も可能であれば、受講してみてください。
・より実践的な学習をしたい場合は、ＰＢＬ・実習型の授業を多く受講してください。

地域と暮らし	地域（再生）の基礎	地域（再生）に関する多様な分野・テーマ	地域（再生）に資するスキル	ＰＢＬ・実習型	地域（再生）に関する専門科目	合計
1	4	4	2	6	6	23

ここを多く

4 他学部の専門科目で学ぶ

地域に関する専門科目が少ない学部学科の学生の履修モデル

・他学部で開講されている地域（再生）に関する専門科目を受講してください。
・より実践的な学習をしたい場合は、ＰＢＬ・実習型の授業を多く受講してください。

地域と暮らし	地域（再生）の基礎	地域（再生）に関する多様な分野・テーマ	地域（再生）に資するスキル	ＰＢＬ・実習型	地域（再生）に関する専門科目	合計
1	4	4	4	4	6	23

他学部履修

Q&A

Q1 コミュニティ再生ケア学の履修開始方法を教えてください。履修開始には特別な申込みなどが必要ですか？

A1 コミュニティ再生ケア学の履修証明を取得するには事前登録が必要となります。詳しくは６ページの「コミュニティ再生ケア学の履修方法」をご覧ください。

Q2 コミュニティ再生ケア学の履修登録は、どの学年からでも可能ですか？

A2 可能です。ただ、指定科目により対象年次が決まっているものもありますので、シラバス等で確認してください。なお、今年度は大学院生は履修登録の対象としていません。

Q3 現在学部４年生です。１年間でコミュニティ再生ケア学の取得要件を満たすことはできますか？

A3 コミュニティ再生ケア学の履修証明書取得要件のうち種別ごとに最低限必要となる単位数（必修１単位以外）の 22 単位を取得していれば可能です。

Q4 学部の卒業要件に入らない単位についても、コミュニティ再生ケア学の単位として認めてくれますか？

A4 卒業要件とは別に、コミュニティ再生ケア学の指定科目であれば単位としてカウントします。

Q5 コミュニティ再生ケア学として認定されている科目については、2014 年度以前に取得した科目であってもコミュニティ再生ケア学として認められますか？

A5 2014 年度からの一部の科目（12 科目）については単位認定できます（10 ページ参照）。しかし、今年度から新たに指定された科目（普遍教育科目、専門教育科目とも）については、たとえ同一科目名のものを 2014 年度以前に履修したとしても、単位認定はできません。

Q6 コミュニティ再生ケア学の履修証明書はいつ授与されますか？

A6 卒業時に授与されます。詳しくは６ページをご覧ください。ただし、３年次終了時までに履修が終了していれば、取得見込み証明書を発行します。

Q7 指定された期間にコミュニティ再生ケア学の履修証明の取得申請・登録を忘れてしまいました。履修証明書を発行してもらうのは不可能でしょうか？

A7 原則として、事前に申請・登録をしていない場合は履修証明書は発行できません。コミュニティ再生ケアセンターに問い合わせてください。

Q8 コミュニティ再生ケア学の履修証明の取得申請・登録をしましたが事情により履修を取り消したいと思っています。その場合はどうすればよいでしょうか？

A8 必ずコミュニティ再生・ケアセンターで履修証明の取得申請・登録の取り消しの手続きを行ってください。

Q9 単位はいらないので、コミュニティ再生ケア学の指定科目を聴講というかたちで受講できますか？

A9 それぞれの科目の担当教員に相談してください。

Q10 コミュニティ再生ケア学の履修登録はしていませんが、指定科目を受講できますか？

A10 もちろん、できます。

Q11 コミュニティ再生ケア学の科目種別ごとの必要単位数を超えて指定科目を受講できますか？

A11 できます。ただし、科目種別ごとの必要単位数の上限を超えて単位認定はされません。

Q12 地域 NPO 活動体験／インターンシップへの申込方法を教えてください。

A12 募集要項をよく読み、申込に必要な書類等を準備して、締切までに担当教員に提出してください。14 ページに履修の流れが記載されているのでご覧ください。４月にガイダンスを開催予定ですのでぜひ参加してください。開催日等については、総合校舎の掲示、ウェブサイト、facebook 等で告知します。

Q13 サテライトキャンパスは誰でも利用できますか？

A13 地域を元気にするための活動などに利用できます。コミュニティ再生・ケアセンターに問い合わせてください。

最新情報はホームページ・ＦＢから

http://www.coc.chiba-u.jp

https://www.facebook.com/cocchiba

コミュニティ再生ケア学　履修ガイダンスの開催

日時：2015 年４月　**13**日（月）・**14**日（火）・**15**日（水）・**16**日（木）
いずれの日も **12:10 ～ 12:40**（ランチ持参可）

場所：総合校舎Ｄ号館 D24

履修相談会の開催

日時：2015 年４月　**13**日（月）**13:30 ～ 18:00**
14日（火）**10:00 ～ 18:00**（上記ガイダンス時間を除く）

場所：コミュニティ再生・ケアセンター（場所は右ページ参照）

もっと知りたい
分かりたい！
人は
ガイダンスへ!!

オフィス案内（アクセス）

西千葉

千葉大学 コミュニティ再生・ケアセンター

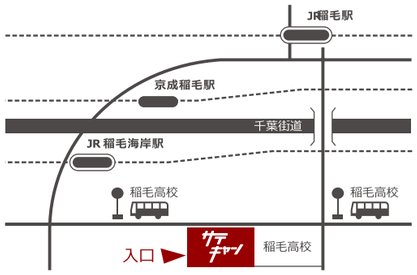
〒 263-8522　千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33
Tel：043-241-1111［内線 4144］　e-Mail：coc@chiba-u.jp

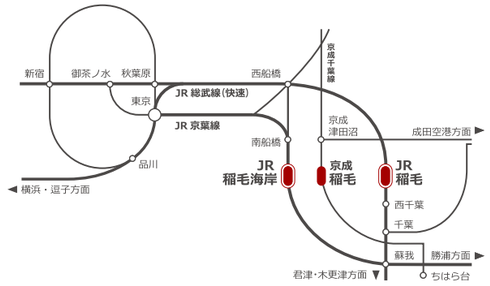
楓ホール 1F
コミュニティ再生・ケアセンター

美浜

千葉大学 サテライトキャンパス美浜

〒 261-0003　千葉県千葉市美浜区高浜 3-3-1　Tel：043-306-2080





JR稲毛駅／総武線（快速）から ▶▶▶　**京成稲毛駅**／京成千葉線から ▶▶▶　「高浜車庫」「花の美術館」「海浜プール」行き，バス10分「稲毛高校」下車，徒歩6分
JR稲毛海岸駅／京葉線から ▶▶▶　「稲毛駅」行き，バス10分「稲毛高校」下車，徒歩6分　※駐車スペースがないため、公共交通機関をご利用ください．

コミュニティ再生ケア学　手引き　2015

2015 年 3 月　発行

発行：千葉大学　コミュニティ再生・ケアセンター

〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1 - 33
千葉大学西千葉キャンパス 楓ホール 1 階
043 - 251 - 1111（内線 4144）　E-mail : coc@chiba-u.jp

http://www.coc.chiba-u.jp　　https://www.facebook.com/cocchiba

最新情報はホームページでチェックしてください。